Hello, Beautiful. 2

From GUNMA

家族の絆も深まる
「マイナス50cmの庭作り」

娘に物心がつく頃までには自然の豊かな場所に家を構えたい。

そう思って2023年の初夏に高崎市の郊外に引っ越してきました。

選んだのは元は畑だった土地。家庭菜園が楽しめると期待していたのですが

甘かったです。庭の途中から道路に向かっての傾斜がきつくて過ごしづらい。

そのうちに雑草が生い茂るようになって施工店に相談しました。

それで出来たのが芝生と四角いアウトドアリビングです。

傾斜のきついゾーンに盛り土をするのではなく逆に掘り下げて平坦に

するアイデアに感心しました。周囲から50cmほど下がっていますが

おかげで四角いスペースの脇に設けた花壇には娘の背でも手が届きます。

他にもテーブルを出してブランチしたり、夜にBBQを楽しんだり。

今日は暑いので芝生のほうにプールを出して朝から娘と水遊びです。

午後はキャンバスルーフの下で読書でもしようと思っています。

見る庭から遊べる庭へ

「広くて途中から傾斜のついた庭。この個性を生かそうと思いました」と設計のSさん。創業40数年の造園会社を継ぐ2代目だ。眺める植栽が主役だった先代の頃とは変わり、今はランドスケープ全体のデザインに注力している。「まず傾斜の緩いゾーンは開放的な芝のエリアにしようと思いました。人工芝で下には防草シートと水はけを促す砂利を敷きました」。ちなみに芝に植わるシンボルツリーにアオダモを選んだ理由は見栄えだけではない。「葉が少なく手入れ要らず。イージーケアは近年の必須ですから」。

たどり着くまでのストーリーを

もうひとつが傾斜のきついゾーンを50cm掘り下げたアウトドアリビング。「母屋からクランク状に伸びる敷石を曲がって、階段を3段下がると到着する。左右や上下に動きのあるストーリーが楽しいんですよね」。動線の曲がり角やシンボルツリーの下には夜景と安全性のためライトを設置した。「床材は最新のパエリア・透水性です。水はけの性能が最優先だったので迷わずオーダーしました。さらに床材下の厚さ20cmの砂利が暗渠排水となって水はけは抜群。BBQのあとの掃除もラクなんですよ」。

Choice

P130

パエリア

天然石のような味わいのインターロッキングブロック。表面の凹凸、色調、敷き並べた時の風合いを追求した敷き材です。最新の「透水性」は高い透水性能で水たまりができにくく歩きやすい路面を実現します。